

日本選手として初のボートのワールドカップ(W杯)優勝を果たしました。愛媛の海で力をつけた第一人者はこれからも挑戦を続けます。

進藤晶子

ほつとタイム



—7月のW杯ルツェルン大会で、日本選手では初めてW杯で優勝されました。

調子はよかったです。千層紙で、観客の「タケダー」という声が聞こえましたから。聞こえるということは体がすごくリラックスしていて、感覚も研ぎ澄まされている状態なんです。

—当初は、軽量級シングルスカルではなく軽量級ダブルスカルに出る予定だったそうですね。

正式に決まったのは2日前。相手の選手に疲労骨折などがあって組めなくなつて、シングルでエントリーしたんです。

—そして初の栄冠です。

もちろん、うれしいんですけど、軽量級シングルスカルは五輪の種目外ですから。選手層の厚い五輪種目で勝ちたいという気持ち、ぼくの中では強くて。

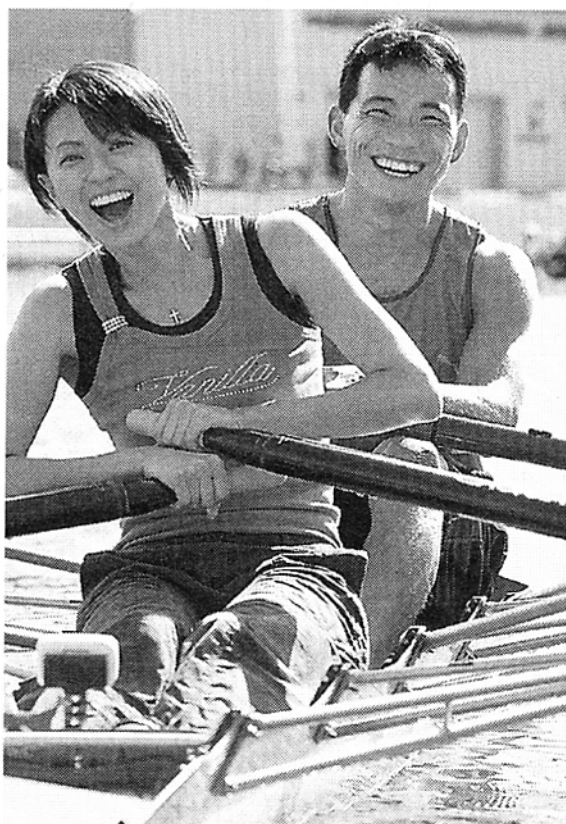
—では5月のW杯イートン大会で、五輪種目でもある軽量級ダブルスカルで2位に入った時の方が手応えあり、ですか？

そうです。あの時、須田(貴

風と一体 水面を滑る

武田 大作

ポート



「跳躍系の筋肉は使わないので、垂直跳びは悲しいことに45センチ。よくこいでいる人ほど足首やふくらはぎは細いから、すぐわかりますよ」＝蛭田真平撮影

速さにはまった

—ポートとの出会いは高校1

浩 君とは組んで1カ月ぐらい。ほくらに失うものはないと、前半から積極的に飛ばしたんです。挑戦者として臨んで、メダルに届いた点を自分では評価しています。

—2人でこぐダブルスカルは呼吸が大事になりますね。

まずは互いの個性を理解しあうことです。ほくはしゃべるのが好きですけど、声かけがうるさいと思う人もいます。相手を消してはだめだし、自分が死んでもだめ。ダブルスカルは、例えば、夫婦漫才みたいなもんですね。

年の時でした。すごく運動はしたいけど、球技は苦手だった。苦手なことはしたくないので、高校から始めるような珍しいスポーツをしようと思ったんです。高校入学時は、16歳で42センチ。小学生に間違えられるくらい小柄で、最初はコックスというかじ取り役でした。でもこぎたくてねえ。その時、偶然空いていた種目がシングルスカル。だんだんスピードが出るようになって、本当におもしろくなって。はまりましたね。

—地元で練習し、力をつけられました。

波はあるし、こぐたびに変化が

切り替えも大事

あります。風が強くてこげないこともあるんですけど、それでも海は楽しい。落ち着きますね。

—一番印象深い大会を教えてください。

アトランタ五輪です。シングルスカルで出たのですが、オープンウェイトですから、身長が2センチある連中が集まる。レースを怖いと思ったのは初めてでした。でもそこで次の違うスピードを目標の当りにしたからこそ、今も可能性を求めて競技を続けているような気がします。

—ではポートの魅力とは？

アトランタ五輪です。シングルスカルで出たのですが、オープンウェイトですから、身長が2センチある連中が集まる。レースを怖いと思ったのは初めてでした。でもそこで次の違うスピードを目標の当りにしたからこそ、今も可能性を求めて競技を続けているような気がします。

—ではポートの魅力とは？

たけだ・だいさく、愛媛出身。愛媛大付属高より愛媛大へ同大学院。ダイキ所属。シドニー、アテネ両五輪の軽量級ダブルスカルで連続6位入賞。今年7月のW杯ルツェルン大会軽量級シングルスカルで、日本選手として初めてW杯で優勝した。178センチ、73キロ、31歳。

た。

男子4000メートル個人メドレーは、佐野秀匡(アク

大)が4分42秒68で5位だった。

【男子】

男子1500メートル自由形は、グラント・ハケット

勝 ①米国(ピアソル、ハンセン、クロッカー、レザク)3分31秒85 ②ロシア3分35秒08 ③日本(森田、北島、高安、細川)

【女子】

女子500メートル自由形は、①米国(ピアソル、ハンセン、クロッカー、レザク)3分31秒85 ②ロシア3分35秒08 ③日本(森田、北島、高安、細川)

後記 武田さんがこぐポートはぐんぐん景色が流れて爽快(そうかい)なことこの上なし。まるでミズスマシになった

豪快な笑い声に 南国の太陽思う

ようでした。加速の度に身をすくめる私の背後から聞こえる豪快な笑い声。南国の太陽を思わせる方でした。(進藤)

水泳 世界選手権

日本競泳メダル9個に

【モントリオール(カナダ)】由利英明「水泳3位の日本(森田智己、ダルは今大会9個目で過

は、雪下純一(筑波大)個人種目では史上初の4

大)が4分42秒68で5位だった。

男子1500メートル自由形は、グラント・ハケット(豪)が14分42秒58で、